

～「ここすき」学びの記録～ 「自分で自分を育てる力」をもった1歳児

* Kさんが大人に言われていないのに、自分から一生懸命やろうとしているのを見てると、1歳～2歳の子どもが「自分で自分を育てる力」をもっていることがよくわかります。



1) 坂道があるとのぼりたい!



2) 高いところがあれば、上からみてみたい!



3) 手にモノを持って歩きたい!



4) 容器とモノがあれば、何か入れてみたい!



5) 片づける場所さえあれば、全部片づけて!



6) ホックがあれば、外してみたい!

Kさんが**何度も繰り返しよう**とすること。それは今、Kさんが**伸ばそうとしている力**を伸ばせる行動です。

・Kさんは、すべり台を**逆からのぼろう**とします→それは**手足を力強く動かす力**を獲得したいからです。

・Kさんは、**高いところから見よう**とします→それは**大きくなりたい気持ち**があるからです。

・Kさんは、手に**モノをもって歩きます**→それは**手を使う力とバランスをとって歩く力**を獲得したいからです。

・Kさんは、手に**もったモノを容器に入れたがります**→それは2つのモノの**関係を探らし発見したい**からです。

・Kさんは、全部**片づけてくれます**→それは**目標が目に見え、全部できると達成感が得られる**からです。

・Kさんは、ホックをつけておくと、**全部外してくれます**→自分の力で**外界に変化をつくりたい**からです。
(→「外すこと」が十分にできるようになったら、次は「自分でホックを留めてみたい」思いが育ってきます。)

乳幼児期の教育とは、このように**環境に能動的に関わり、自分で自分を育てていく「アクティヴラーニング」**なのです。

私たち大人にできるのは、(可能なときには) その子どもの**「みずから育とうとする力」**を信頼して、**応援すること**。
そして、それが難しい場合でも、**「みずから育とうとする子どもの思い」**を理解し、「あなたはこうしたいんだね」ということを**言葉にして認めてあげる**ことです。それさえあれば、**子どもは大人の想像を超えて成長していきます**。